

設置計画の概要

事項		記入欄																
設置手続きの種類		事前伺い																
計画の区分		研究科の専攻の設置																
フリガナ者		コクワダイガクホウジン 熊本ダイガク 国立大学法人 熊本大学																
フリガナ名称		クマモトダイガクダイガクイン 熊本大学 大学院 (Kumamoto University Graduate Schools)																
新設学部等において養成する人材像		<p>【薬学教育部医療薬学専攻】</p> <p>①高度医療を推進する薬剤師及び国際的研究能力を有し医療系薬学研究・教育を担う人材を養成する。 ②臨床的課題を対象とする領域を中心に、高度の専門性や優れた研究能力を習得させる。 ③高度の専門性を有する薬剤師、大学・研究機関の医療系薬学研究者・教育者、製薬企業の臨床開発研究者</p>																
既設学部等において養成する人材像		<p>【薬学教育部分子機能薬学専攻】</p> <p>①ゲノム情報を活用した創薬及び先進的な創薬技術の開発に関わる研究者・技術者を養成する。 ②創薬に関連する最先端の研究領域における問題解決能力・研究能力を習得させる。 ③製薬企業および大学・研究機関のゲノム創薬・基盤的創薬研究者・技術者</p> <p>【薬学教育部生命薬科学専攻】</p> <p>①高度な指導的臨床薬剤師及び生命・環境分野の研究者・技術者を養成する。 ②医療薬科学あるいは生命・環境科学の領域における問題解決能力・研究能力を習得させる。 ③中核医療機関の薬剤師、及び大学・研究機関の生命科学・環境科学研究者・技術者</p>																
新設学部等において取得可能な資格		取得可能な資格はない。																
既設学部等において取得可能な資格		取得可能な資格はない。																
新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員								
	大学院 薬学教育部	医療薬学専攻 (博士課程)					4	8		-	32	学位又は称号 博士 (薬学)	学位又は学科の分野 薬学関係	平成24年 4月	異動元		うち教授	
															分子機能薬学専攻	6		2
															生命薬科学専攻	16		6
									新規採用	2	1							
									計	24	9							
既設学部等の概要 (現在)	既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員								
	大学院 薬学教育部	分子機能薬学専攻 (廃止)					3	18		-	54	学位又は称号 博士 (薬学) 博士 (生命科学)	学位又は学科の分野 薬学関係	平成15年 4月	異動先		うち教授	
															医療薬学専攻	6		2
															創薬・生命薬科学専攻	20		6
									その他	2	2							
									計	28	10							
既設学部等の概要 (現在)	既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員								
	大学院 薬学教育部	生命薬科学専攻 (廃止)					3	13		-	39	学位又は称号 博士 (薬学) 博士 (生命科学)	学位又は学科の分野 薬学関係	平成15年 4月	異動先		うち教授	
															医療薬学専攻	16		6
															創薬・生命薬科学専攻	7		5
									その他	5	0							
									退職	2	2							
									計	30	13							
【備考欄】																		

教育課程等の概要 (事前伺い)

(薬学教育部医療薬学専攻) (新設分)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
コース共通	生命倫理学特論	1前	2			○			1							
	医療薬学論文研究	1前	2				○			1						
	医療総合演習	1～4通	2				○		8	1						
	医療実践演習	1～4通	2				○		8	6	2	7				
	医療特別実験	1～4通	10					○	8	6	2	7				
	副作用被害・医療訴訟特論	1前		2			○			1						
	臨床開発演習	1後		2				○	1							
	治験コーディネート演習	3前		2				○	2							
	薬剤疫学特論	3前		2			○			1						
小計 (9科目)	—	—	18	8	0	—	—	—	9	6	2	7	0	—	—	
臨床薬学コース	専門薬剤師実習	2通		8				○	1							
	実践臨床薬学実習	2通		8				○	1							
	地域医療連携特論	1後	2				○			1						
	医療経営学特論	1後		2			○		1							
	プライマリケア実習	1後		2				○			1					
	専門薬剤師特論	2前		2			○		1							
	TDM演習	3前		2				○	1							
	医薬品治験開発特論	3前		2			○			1						
小計 (8科目)	—	—	2	26	0	—	—	—	3	2	1	0	0	—	—	
医療薬学コース	医療薬科学特論	1前	2			○			1							
	医療薬科学課題実習	1後	2					○		2						
	再生医療特論	1後		2			○		1							
	実践インターンシップ講座	2通		2				○	8	1						
	トランスレーショナル基礎講座	3前		2				○			1					
	医薬品製造・臨床調剤実習	3前		2				○	1							
	医療ICT演習	3前		2				○	1							
小計 (7科目)	—	—	4	10	0	—	—	—	8	3	1	0	0	—	—	
合計 (24科目)		—	—	24	44	0	—	—	—	9	6	2	7	0	—	—
学位又は称号	博士 (薬学)		学位又は学科の分野			薬学関係										
設置の趣旨・必要性																
<p>I 設置の趣旨・必要性</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 薬学又は生命科学の幅広い知識及び深い思考力を備えた、高い研究志向及び問題解決能力を有する高度医療専門職業人、専門分野における国際的研究能力を有する研究者若しくは教育者を養成するため、6年制学士教育課程 (薬学科) の卒業生及び病院や薬局等の医療機関で働いている薬剤師を大学院に受け入れるための博士課程 (4年制) を設置する。 2 本学は九州地区において、学部の6年制学科の入学定員 (55名) を4年制学科の入学定員 (35名) よりも多く設定している唯一の国立大学である。また6年制学科の入学定員は、全国の国立大学の中で最も多い。臨床薬学の教育研究に力を入れている本学は、博士の学位をもった研究面の力量ある薬剤師、ファーマシスト・サイエンティストの養成を目指している。 3 九州にある国立大学薬学部の立地を考えると、本学は九州中南部の薬剤師養成の基幹としての役割を期待されている。九州中南部における主要な病院薬局をリードする人材として博士号をもった先導的・指導的薬剤師を養成することは、本学に課せられた使命である。 4 本学薬学部では附属施設として育薬フロンティアセンターを全国に先駆けて設置し、育薬活動を熊本から全国に発信している。育薬フロンティア活動の中核として、地域の薬剤師と連携をとりつつ育薬活動を繰り広げていくための、博士の学位をもった医療系薬学研究者を本学で養成することが必要である。 																

II 教育課程編成の考え方・特色

医療薬学専攻では、薬学領域の幅広い知識及び深い思考力を備えた、高い研究志向及び問題解決能力を有する高度医療専門職業人、専門分野における国際的研究能力を有する研究者若しくは教育者を養成することを目標としている。この目標を達成するため、次のとおり目標にきめ細かく対応したカリキュラムを編成している。

- 1 社会が求める実践的な先導的薬剤師及び臨床現場の薬剤師業務を理解する基礎薬学研究者、薬剤師の資格が必要な製造管理責任者等の研究開発管理者、治験コーディネータ、大学教員・研究者として活動する人材の養成を効果的に行うため、「臨床薬学コース」と「医療薬科学コース」の2コース制を採用し、医療人・薬学人として必要な内容を両コース共通の必修科目として設定する。
- 2 両コースに関連の深い授業科目を共通授業科目の選択必修科目とする。
- 3 各コースに特徴のある授業科目のうち、共通性及び重要度の高い授業科目を必修科目として設定し、より細やかな人材像に特化した内容の授業科目を各コースの選択必修科目とする。
- 4 「臨床薬学コース」には社会が求める即戦力としての先導的薬剤師養成を目的として、2年次に1年間の病院又は薬局実習のいずれかを課し、専門薬剤師・認定薬剤師又は医療薬学全般に関して強力な指導力を発揮する指導薬剤師の養成を支援する授業科目を選択必修科目として設置する。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
①臨床薬学コースにおいては、コース共通科目では必修科目及び選択科目4科目のうちから1科目以上の計20単位以上を修得、コース科目では専門薬剤師実習又は実践臨床薬学実習のいずれか1科目、必修科目1科目及びその他の選択科目5科目のうちから1科目以上の計12単位以上を修得し、合計32単位以上修得すること。	1学年の学期区分	2学期
②医療薬科学コースにおいては、コース共通科目では必修科目及び選択科目4科目のうちから3科目以上の計24単位以上を修得、コース科目では必修科目2科目及び選択科目5科目のうちから2科目以上の計8単位以上を修得し、合計32単位以上修得すること。	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

教育課程等の概要(事前伺い)

(薬学教育部分子機能薬学専攻)(既設分)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
分子機能薬学	遺伝子機能応用学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1		1	1			
	遺伝子機能応用学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1		1	1			
	創薬基盤分子設計学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1	1					
	創薬基盤分子設計学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1	1					
	生体機能分子合成学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1	1		1			
	生体機能分子合成学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1	1		1			
	機能分子構造解析学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1	1		1			
	機能分子構造解析学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1	1		1			
	病態遺伝子解析学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1	1					
	病態遺伝子解析学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1	1					
	免疫機能評価学Ⅱ	1～3通		2		○					1			兼3	オムニバス
	薬物機能評価学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	2	1					
小計(14科目)	—	—	36	12	0	—	—	—	7	4	1	5	0	兼3	
創薬化学	分子薬化学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1	1					
	分子薬化学演習Ⅱ	1～3通		2				○	1	1					
	分子薬化学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1	1					
	構造機能物理化学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1	1		1			
	構造機能物理化学演習Ⅱ	1～3通		2				○	1	1		1			
	構造機能物理化学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1	1		1			
	天然薬物学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1	1					
	天然薬物学演習Ⅱ	1～3通		2				○	1	1					
	天然薬物学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1	1					
	薬物活性学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1	1		1			
	薬物活性学演習Ⅱ	1～3通		2				○	1	1		1			
	薬物活性学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1	1		1			
	薬学微生物学特論Ⅱ	1～3通		2		○						2			
	薬学微生物学演習Ⅱ	1～3通		2				○				2			
	薬学微生物学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○				2			
小計(15科目)	—	—	30	20	0	—	—	—	4	3	0	5	0		
共通	生命環境倫理学特論	1～3通		2		○								兼1	集中
	小計(1科目)	—	—	0	2	0	—	—	0	0	0	0	0	兼1	—
合計(30科目)		—	—	66	34	0	—	—	10	7	1	10	0	兼4	—
学位又は称号		博士(薬学)又は博士(生命科学)		学位又は学科の分野			薬学関係								

教育課程等の概要 (事前伺い)

(薬学教育部生命薬科学専攻) (既設分)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
生命・環境科学	生命分析化学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1						
	生命分析化学演習Ⅱ	1～3通		2			○		1						
	生命分析化学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1						
	環境分子保健学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1	1		1			
	環境分子保健学演習Ⅱ	1～3通		2			○		1	1		1			
	環境分子保健学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1	1		1			
	薬学生化学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1	2		2			
	薬学生化学演習Ⅱ	1～3通		2			○		1	2		2			
	薬学生化学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1	2		2			
	転写制御学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1			1			
	転写制御学演習Ⅱ	1～3通		2			○		1			1			
	転写制御学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1			1			
	臓器形成学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1	1		1			
	臓器形成学演習Ⅱ	1～3通		2			○		1	1		1			
	臓器形成学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1	1		1			
	病態遺伝学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1	1					
	病態遺伝学演習Ⅱ	1～3通		2			○		1	1					
	病態遺伝学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1	1					
	環境分析化学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1	1		1			
環境分析化学演習Ⅱ	1～3通		2			○		1	1		1				
環境分析化学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1	1		1				
小計 (21科目)		—	42	28	0		—		6	4	0	5	0		
医療薬学	薬物動態制御学特論Ⅱ	1～3通		2		○						1			
	薬物動態制御学演習Ⅱ	1～3通		2			○					1			
	薬物動態制御学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○				1			
	製剤設計学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1			1			
	製剤設計学演習Ⅱ	1～3通		2			○		1			1			
	製剤設計学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1			1			
	臨床薬物動態学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1	1					
	臨床薬物動態学演習Ⅱ	1～3通		2			○		1	1					
	臨床薬物動態学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1	1					
	病態薬効解析学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1			1			
	病態薬効解析学演習Ⅱ	1～3通		2			○		1			1			
	病態薬効解析学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1			1			
	薬物治療学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1			1			
	薬物治療学演習Ⅱ	1～3通		2			○		1			1			
	薬物治療学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1			1			
	薬剤情報分析学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1	1		1			
	薬剤情報分析学演習Ⅱ	1～3通		2			○		1	1		1			
	薬剤情報分析学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1	1		1			
	臨床薬理学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1						
	医薬品適正使用学特論Ⅱ	1～3通		2			○		1						
	臨床薬理学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1						
医療薬剤学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1	1						
プライマリ・ケア実践学特論Ⅱ	1～3通		2		○						1				
治験コーディネイト学特論Ⅱ	1～3通		2		○			1			1				
医療薬剤学特別実験Ⅱ	1～3通	6					○	1			1				
小計 (25科目)		—	48	34	0		—		7	3	2	3	0		
共通	生命環境倫理学特論	1～3通		2		○									兼1 集中
	小計 (1科目)		—	0	2	0		—	1	0	0	0	0		兼1
合計 (30科目)			—	90	33	0		—	13	7	2	8	0		兼1
学位又は称号		博士 (薬学) 又は博士 (生命科学)	学位又は学科の分野			薬学関係									